



スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY



経済産業省
Ministry of Economy, Trade and Industry

『スポーツ未来開拓会議』
第6回検討会

「スポーツと地域の活性化」

～金沢文化スポーツコミッションの取組～

大会&合宿誘致から開催まで
私たちが全力でサポートします!!



する人、観る人、支える人を、応援する。

金沢文化スポーツコミッション

代表 平 八郎 26.Apr.2023



自己紹介

金沢文化スポーツコミッション代表 平 八郎



KANAZAWA
CULTURE
AND
SPORTS
COMMISSION

金沢
文化スポーツ
コミッション



5年間



沖縄



金沢

32年間

ホテルマン



札幌



学生時代

3年間

4年間

IHG ANA
HOTELS GROUP JAPAN



MOVE EARTH, MOVE EVERYTHING
日本国土開発株式会社

1959年2月26日東京生れ

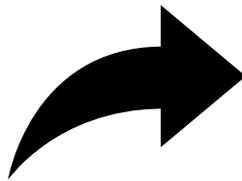


地域スポーツコミッションの機能

スポーツ庁ホームページより

ネットワーク：「地域スポーツコミッション」（総称）

自治体、スポーツ団体、民間企業・団体等が一体となりスポーツによる地域振興に取り組むネットワーク。
※ 地域外からの交流人口拡大のための活動は必要要件



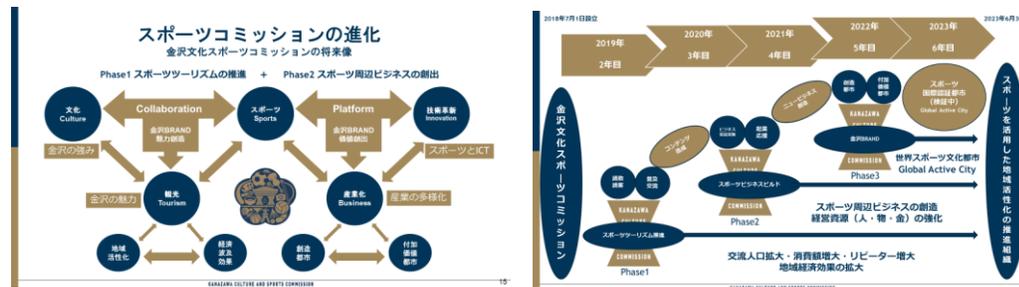
金沢文化スポーツコミッション

Phase1 全国大会誘致
交流人口拡大（経済的活性化）
文化のコラボ（社会的活性化）

Phase2 学生合宿誘致（R5年4月より）
交流人口拡大
民間企業活用

民間企業活用により雇用の創出・経済波及効果
スポーツマネジメント会社の基盤安定化等

* コロナ禍以前の構想





金沢文化スポーツコミッション スポーツツーリズム推進

金沢市観光協会内の別建て組織として2018年7月設立

制度による裏付

予算による裏付

KANAZAWA CULTURE COMMISSION

**誘致
誘客**

- 18年度 3件1,449人泊以上
- 19年度 22件9,298人泊以上(3件中止)
- 20年度 31件4,576人泊以上(23件中止)
- 21年度 42件4,226人泊以上(23件延期・中止)
- 22年度 53件30,000人泊以上予定

KANAZAWA CULTURE COMMISSION

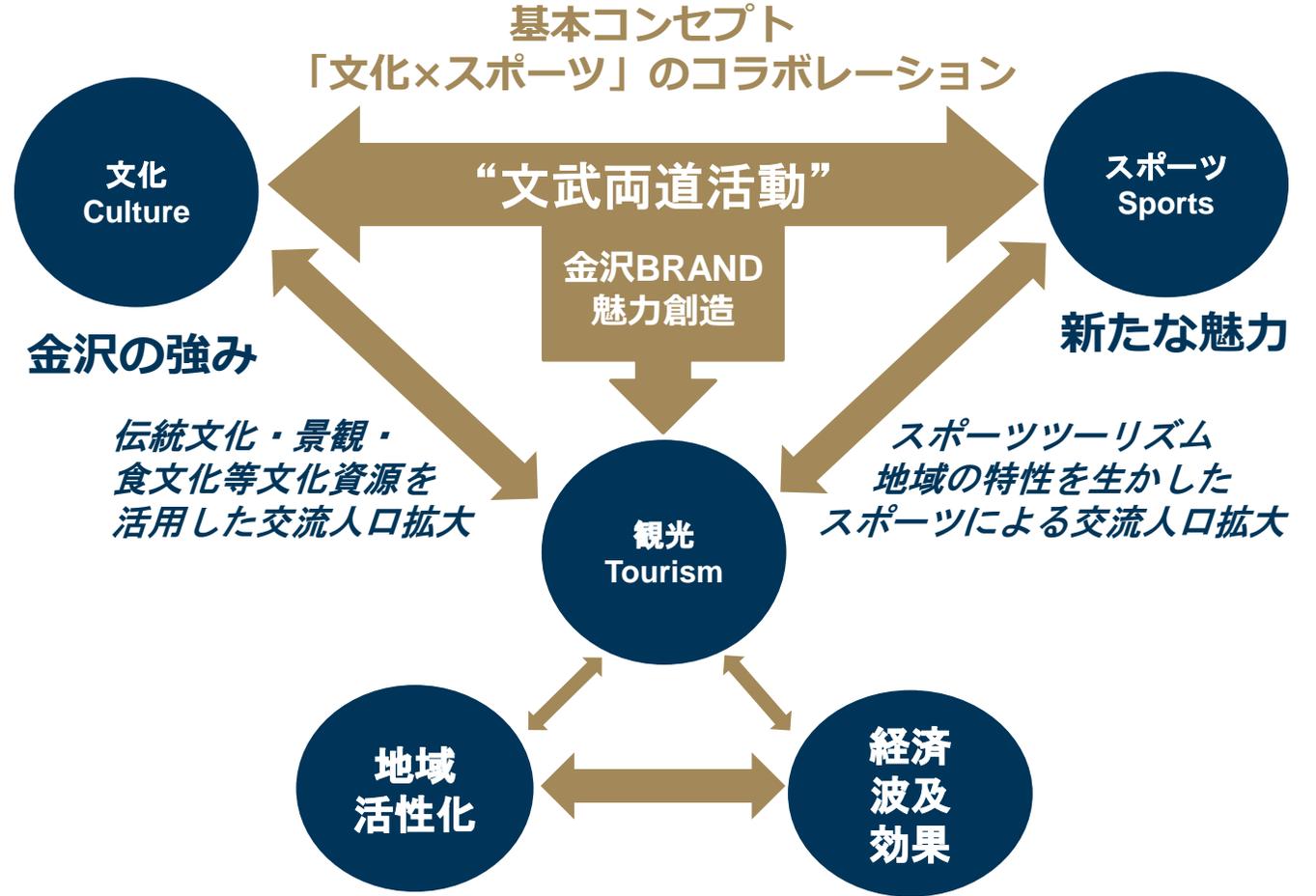
**普及
交流**

- ・競技の普及(将来世代・ユーススポーツ)
- ・地域イベント化(ex.スタンプラリー)
- ・ライトファンづくり(ex.お弁当コンテスト)
- ・SNSの活用(発信力強化)

KANAZAWA CULTURE COMMISSION

**金沢
BRAND**

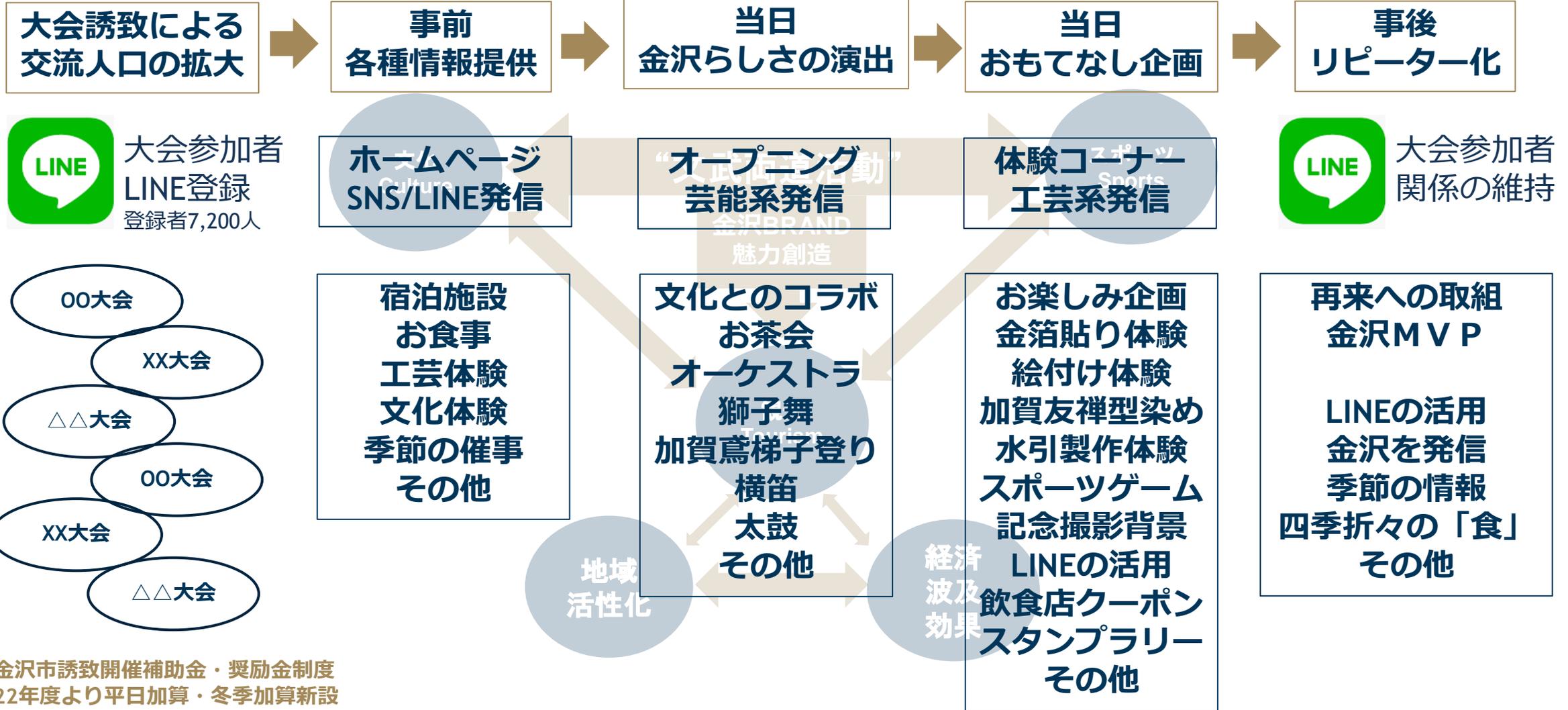
- ・金沢らしさの演出(コラボレーション)
- ・リピーターづくり(LINEの活用)
- ・コンテンツ造成(謎旅・リール等)
- ・新たな魅力創造(文化xスポーツ)



スポーツイベント誘致による交流人口の拡大
文化とのコラボによる消費単価の向上・リピーター化



コンセプト具現化のフロー

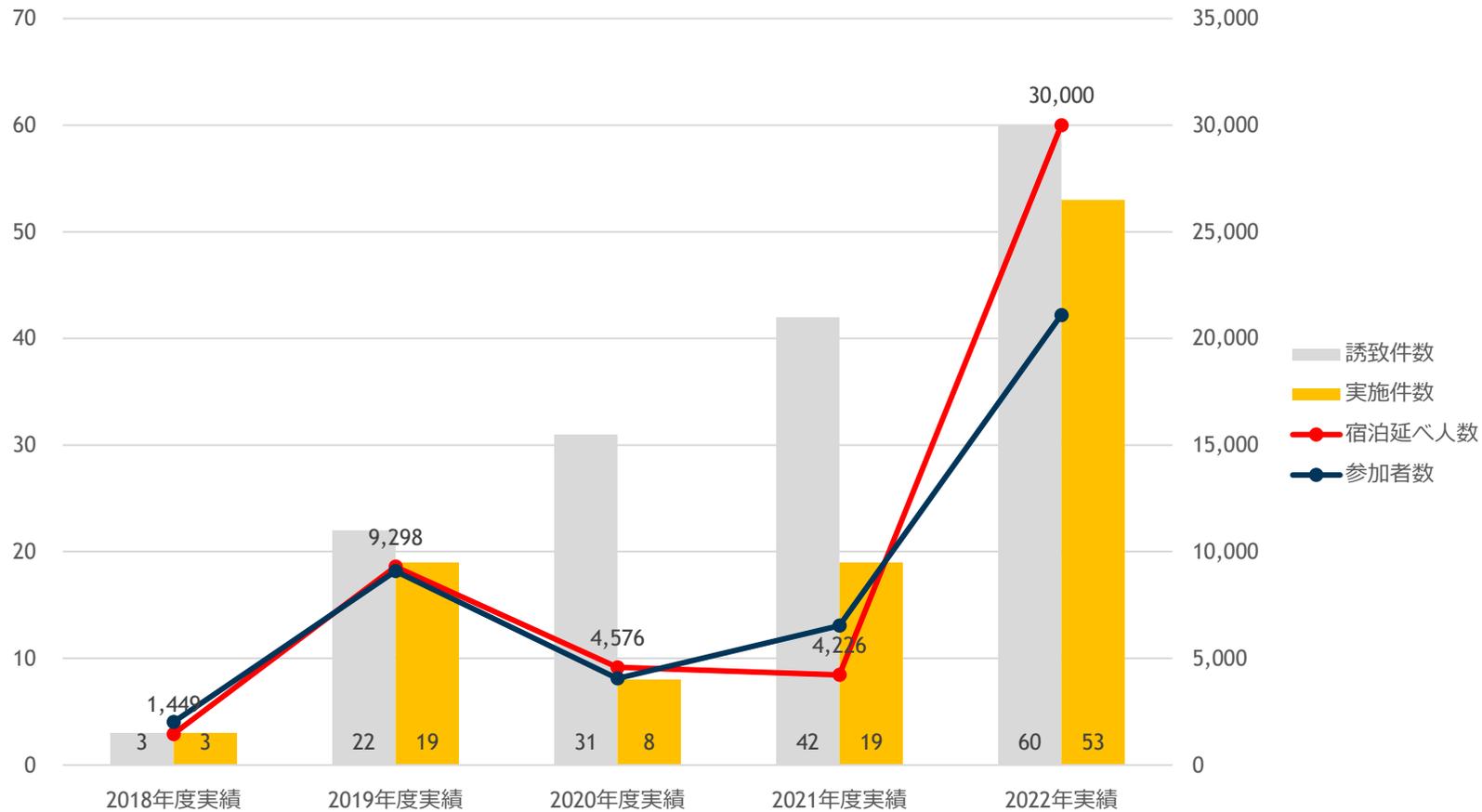


* 金沢市誘致開催補助金・奨励金制度
22年度より平日加算・冬季加算新設



大会誘致・実施件数推移

大会誘致・実施件数推移



| 金沢市内宿泊施設 | 施設数 | 部屋数 | 収容人数 |
|-----------|-----|--------|--------|
| 合計 | 407 | 12,639 | 25,038 |
| 都市ホテル | 9 | 1,530 | 2,818 |
| ビジネスホテル | 70 | 9,579 | 16,956 |
| 旅館・簡易宿所など | 328 | 1,530 | 5,264 |

宿泊延べ人数
 県外参加者 x 宿泊必要数
観戦者及び同伴者は含まず
 * 帯同者推計20,000人/泊

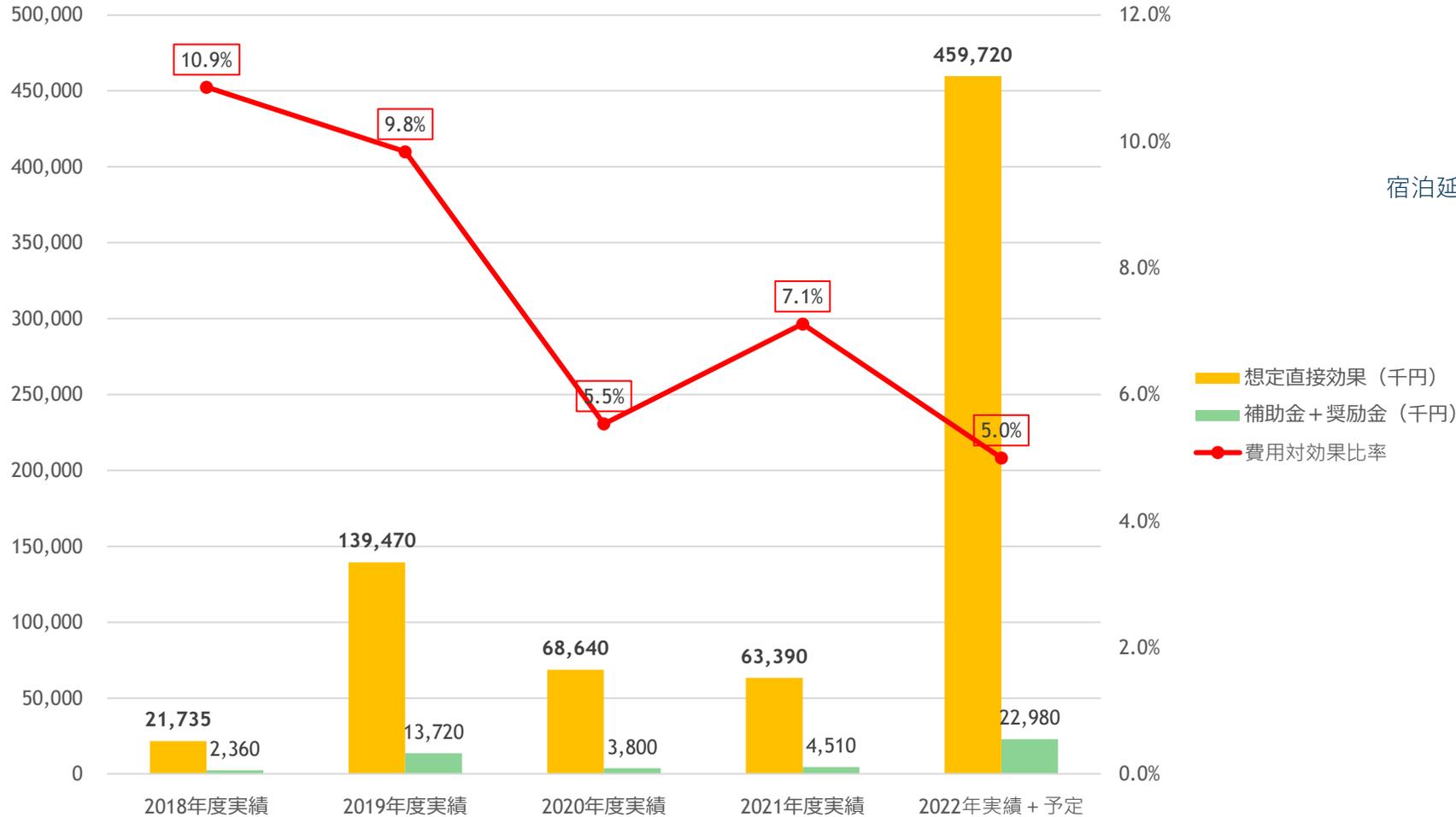
宿泊必要数
 1日大会 = 0.5泊
 2日大会 = 1泊等
 大会日数マイナス1日と仮定

金沢オープン = 新たな需要の創出
 金沢独自で開催する大会
 19件 (35%) 4,000人泊 (13%)



直接経済効果（想定）

費用対効果（補助金のみ）



宿泊延べ人数
 県外参加者 x 宿泊必要数
 （観戦者及び同伴者は含まず）

| | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年 |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 宿泊延べ人数 | 1,449 | 9,298 | 4,576 | 4,226 | 30,648 |

想定直接経済効果
 宿泊延べ人数 x 単価（1人1泊）
 単価（過去実績）15,000円/泊
 宿泊 8,000円
 飲食 3,000円
 お土産 2,000円
 交通費他2,000円



西日本レディース卓球フェスタ・石川大会

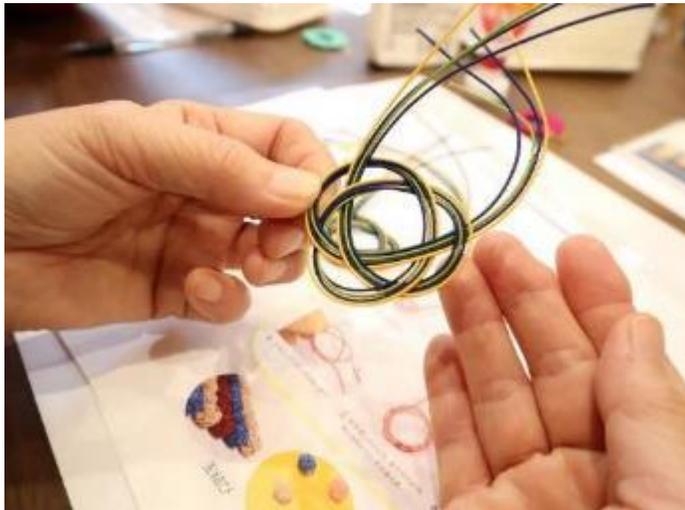
いしかわ総合スポーツセンター 645人参加





「文化×スポーツ」のコラボレーション

(大会前日)水引アクセサリ制作体験



(大会会場)金箔工芸体験





「文化×スポーツ」のコラボレーション

(大会会場)卓球版ストラックアウト



(大会会場)記念撮影コーナー



15種類の和菓子のプレート目掛けて
サーブ・・・。
隠しプレートには日本酒も。
520人がチャレンジ
参加賞「あん」とお買物券500円





夜の金沢体験

兼六園で夕食・21世紀美術館ナイトツアー

金沢文化スポーツコミッションプレゼンツ その3

ライトアップされた紅葉の兼六園で夕食と散策を。

西日本レディス卓球フェスタの会期中、兼六園は紅葉の見頃を迎え、夜間のライトアップを行っています（夜間は入園無料）。そこで、兼六園内の5つの茶店で夕食をお楽しみいただける特別プランをご用意しました。散策と併せてお楽しみください！裏面からご希望のお料理を選び、別紙お申込書を10.31まで（必着）にお申送ください。

募集日時：11/12（火）・13（水）

ライトアップ散策 17:30～20:45（この間の入園無料）
夕食 17:30～（ラストオーダー19:30）

①兼六園三方庵 兼六園発祥の地で明治8年より料亭を經營。鵜池に浮かぶ水亭で季節を映した加賀料理をどうぞ。ライトアップされた翠海の景色はこの時期だけ。

②城山亭 加賀料理「治部煮」が看板メニュー。生鮭出汁など華品メニューも豊富。石川の地酒も豊富に揃っています。蓮池門入口そば。

③堤亭 築110年の木造建築で、懐かしい茶店の雰囲気が漂う。古風な風情のある2階で、金沢の名物料理「治部煮」を召し上がってください。

④蓮葉堂 今年4月にリニューアル。2階のカフェからはライトアップされた金沢城が一望できます。

⑤寄観亭 兼六園のシンボルことしだしの目の前に位置する茶店。地元海の幸、山の幸を取り揃えた郷土色豊かな料理です。

金沢城公園（石川門口）

企画：金沢文化スポーツコミッション 協力：協同組合兼六園観光協会

金沢文化スポーツコミッションプレゼンツ その1

夜の金沢21世紀美術館クルーズ

美術館スタッフが無料ゾーンの楽しみ方を案内する特別ツアー

開催日時：11/13（水） 18:00から（45分程度）
先着60人（30人×2回）参加無料

ご存知でしたか？昨年度258万人が訪れた人気スポット
金沢21世紀美術館は、なじみ深い現代アートを中心としながら年間250万人の驚異的な入場者呼び込み、常識を覆した奇跡の美術館として世界から高い評価を受けています。設計したSANNA（鎌島和世・西沢立衛）は、建築界のノーベル賞と言われるプリツカー賞を2010年に受賞しています。

ご存知でしたか？18時から無料ゾーンをゆったり
この美術館には有料の展覧会ゾーンと無料の交流ゾーンがあります。日中は多くの来館者で賑わいますが、展覧会ゾーンが平日は18時に終了した後22時まで、無料ゾーンをゆったりお楽しみいただけます。（金土は20時に終了）

西日本レディス卓球フェスタの皆様だけに特別な夜のツアー
人気美術館の隠れた見所、あまり知られていない魅力を美術館スタッフがご案内するナイトツアーを、一日限定で開催します。無料ゾーンに点在する恒久展示のほか、屋外のアート作品、美術館の人気の秘密をご紹介します。

有料展示を併せてご鑑賞になりたい方は、18時より前に、展覧会をご覧になった後でご参加ください！

ご希望の方は別紙お申込書で10.31まで（必着）にお申し込みください。

企画：金沢文化スポーツコミッション 協力：金沢21世紀美術館



大会最終日の夜開催
展示スペース営業終了後
職員によるガイドで
美術館の裏話まで・・・。

Phase1
事例

将来の顧客創出



全国小学生バドミントン選手権大会

参加者2,200人



各部門優勝者に水引優勝楯 金箔貼り体験 水引製作キット LINE登録でシューズ袋or金沢カレー・観光パンフレット 記念撮影コーナー





Phase1
事例

人財の開発・育成

当日
おもてなし企画

大学生が企画・実施 ジュニアオリンピッククAS競技大会

アーティスティックスイミング クイズ!

- 作成 金沢文化スポーツコミッション・金沢星稜大学
- ・クイズに参加していただくとキッチンカードで使える割引券がもらえます。
 - ・クイズ全10問のうち3つ選び回答してください。
 - ・アンケートの記載もお願いします。





様々な「スポーツ」大会が金沢で開催 交流人口の拡大



スポーツを応援する「文化」 工芸体験



水引アクセサリー製作体験 起上り絵付け体験



金箔貼り体験



金箔箸作り体験



友禅型染め体験



金箔葉書作り体験



水引トロフィー



水引優勝楯



金箔スポーツ用品



食文化もコラボ



金箔・銀箔・銅箔のドッジボール



『文化×スポーツ』 = 金沢らしさ

金沢らしいスポーツツーリズムの推進



ulture



ports



今後の活動（方向性）

Phase1

全国大会の誘致

交流人口の拡大
スポーツツーリズムの推進
競技団体とのネットワーク構築
文化団体との連携
文化とのコラボレーション
経済的・社会的地域活性化
人財育成と活用

2018年～2023年

Phase2

学生合宿の誘致

交流人口の拡大
スポーツツーリズムの推進
民間との連携強化
スポーツイベント会社
学校・施設管理会社
旅行代理店等
周辺ビジネス

2023年4月～

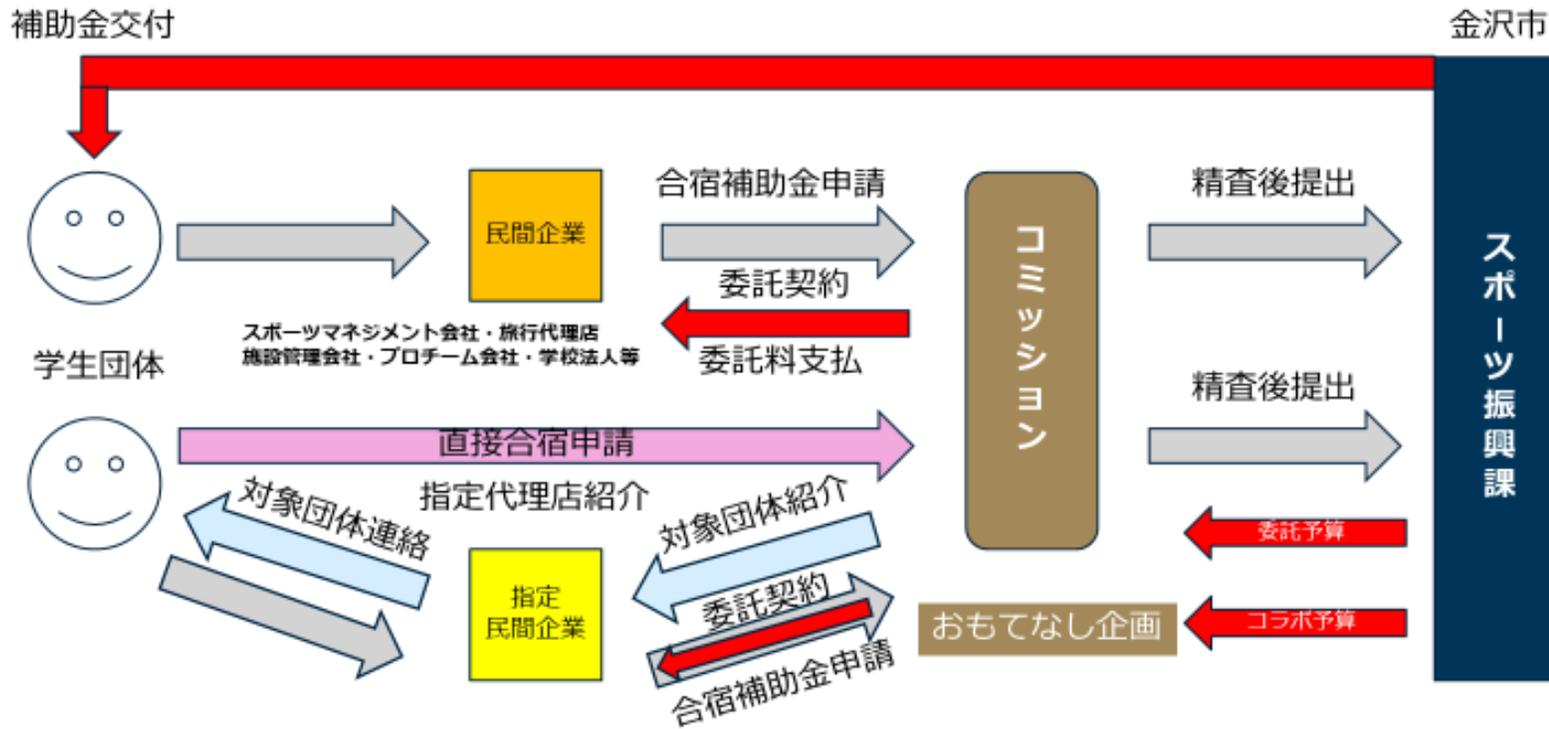
Phase1+Phase2

スポーツから始まる
『Well-being』



学生合宿誘致 2023年4月～ 交流人口の拡大+民間企業の活用

イメージ図



民間企業への委託業務

- ・合宿企画、誘致、実施
- ・コラボ体験等
- ・申請書類作成

単価契約×人泊数により
人泊数を増やせば委託額が
上がり収益が増える

2023年4月より開始
4/20現在11校597人泊
GW10校以上申請予定
2023年度目標
20,000人泊以上

おもてなし文化体験・食文化体験企画中!!



ウェルビーイングとは 身体・精神・社会とのかかわりが持続的に良好な状態

ウェルビーイングとは
いくつかの要素からなる構成概念

「天気が良い」ってどんな状態？

天気は、気温、湿度、風速、気圧、
日照等の測定可能な要素から
全体像を把握して生まれる。



ウェルビーイングの5つの要素
(PARMA)

- ・ ポジティブな感情
 - ・ エンゲージメント
 - ・ 関係性・他者との人間関係
 - ・ 意味・意義
 - ・ 達成
- 多様性と個人の尊重

Positive
Emotions

Engagement

Relationships

Meaning

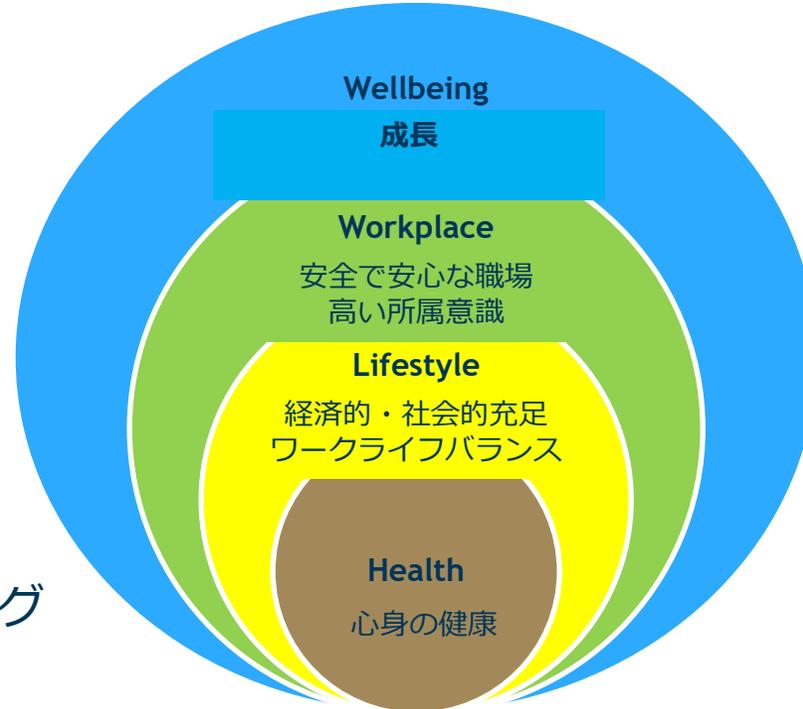
Accomplishments

スポーツから始まるウェルビーイング



スポーツに内在する要素

- ・ 身体の健康・精神の安定
- ・ 他者への尊敬・敗者への敬意
- ・ チームビルド・チームワーク
- ・ 存在意義・役割・多様性
- ・ Goal設定と達成
- ・ 前へ進む力・ポジティブシンキング



古い言いかもしれませんが

「健康な肉体に健全な精神が宿る」

をベースにしてチームワークを尊重し多様性を認め合うことで、存在意義を感じ、目標を達成する。
勝ち負けだけではないスポーツの要素が人生を生きる上で継続的に良好な状態を作っていく。

Positive
Emotions

Engagement

Relationships

Meaning

Accomplishments



(解説 1) ユニークな制度

金沢市誘致開催補助金・奨励金制度

| | | |
|----------------|---|-----------------|
| |  <p>する人、観る人、支える人を、応援する。 金沢文化スポーツコミッション</p> | 自治体の一般的制度 |
| 県外参加者数 | 50人以上 | 50人以上～20人以上 |
| 下限額（千円） | 150 | 50～30 |
| 上限額（千円） | 3,000 | 3,000～1,000 |
| 伝統芸能披露等 | 3分の2助成（300千円限度） | 4分の3助成（400千円限度） |
| 文化体験等 | 工芸体験等コラボ無料で手配 | ----- |
| その他補助等 | シャトルバス・平日割増・冬季割増等 | シャトルバス等 |
| 支払先 補助金・奨励金 | 主催団体1/3 主管団体2/3 | 主催団体 |
| | 中央団体等1/3 地元団体2/3 | ----- |

2018年コミッション設立時制定、毎年見直しを続ける。単年度→3年継続 平日・冬季割増 人数規模等
大会誘致の原動力は地元競技団体



(解説2) 交流人口の拡大 ビジネス機会の創造

23年度目標
30,000人泊



金沢市の制度



23年度目標
20,000人泊



誘致活動主体



メリット



効果





(解説 3) 交流人口の拡大と地域活性化 「金沢オープン」という大会

スポーツ庁のKPIが「170スポーツコミッション設立」という方針があり、将来の誘致競争に備え金沢でしか開催されない大会を作り出すという考え方。
2022年度19大会約4,000人泊

「きんかんなまなま駅伝大会」主催：金沢市陸上競技協会
4人/組1人1,5Km 周遊コースで応援しやすい
小学生から成人までの各クラスで表彰

2021年 2月 第1回参加者618人 (内県外56人 観客550人)
2021年12月 第2回参加者773人 (内県外64人 観客730人)
2022年12月 第3回参加者737人 (内県外80人 観客900人)



2021年12月第2回大会



2021年2月第1回大会



2022年12月第3回大会

(解説 4) インバンド向け体験商品造成 2019年9月



BUDO ツーリズム (弓道 x 茶道 x 禅)

23年4月～
民間企業が販売

Experiences of Real JAPAN

- ・ 日本発祥の武道にフォーカス 武士の町金沢
- ・ スポーツの側面と日本的な精神世界を併せ持つ「弓道」(兼六園弓道場)
- ・ 金沢の強みでもあり伝統工芸が集約されている「茶道」(好古庵)
- ・ 欧州・北米でリラクゼーションとして認知度の高い「禅」(鈴木大拙記念館)
- ・ 「弓道」「茶道」「禅」ともに金沢に歴史的背景がある

日本人の精神世界を体験

9:00~10:00 鈴木大拙館

鈴木大拙館で、禅の思想を体験します。
鈴木大拙は金沢出身の世界的な仏教哲学者。

禅の思想体験

10:15~12:00 兼六園弓道場

弓道の心構えから実際に弓を射るまでを体験します。道着を着て記念撮影も。

弓道体験

12:45~13:30 茶室 好古庵

由緒ある茶室で、お茶と和菓子を体験いただけます。

茶道体験





(解説 5) 謎解き from 金沢 at 金沢 2020年～

『金沢謎旅』 オンライン

無料web版
2020年9月公開 全国50,000人以上が挑戦

『金沢謎旅』 まちあるき

1,500円で販売リアル版
2021年3月販売開始 7,000部販売



Congratulations!

「●●●●」が息づくまち。



金沢は武家文化のまち。城を中心としたまちづくりでは、惣構にくるりと囲まれ、城の近くから重臣、家来、町人町や市場が形成されました。
百万石超の財力を背景に、幕府の警戒をかわすため藩主が文化に投資したおかげで、工芸、芸能、食など金沢独自の文化が花開きました。伝統工芸には、金箔や加賀友禅のほか、武具や馬具を装飾した金工技術や、茶の湯とともに陶芸や漆芸が残っています。武士たちは文武両道を喜び、藩には文武の藩校が設けられました。

非被災都市・金沢は城下町の都市構造に歴史の層を重ねてきました。そして継承した伝統の上に新たな文化を加えてきています。文武両道の精神もまた受け継がれ、今、文化 × スポーツの取組へとつながっているのです。まちと人、伝統と革新、文化とスポーツのいい関係が、ここ金沢にはあります。

解いてはあるき。



あるいては解き。

2023年4月現在



コンセプト具現化のための人財像

実行力（具現化する力）

企画力（柔軟な発想/マーケティング力/Fun to do）

巻込む力（コミュニケーション能力/ネットワーキング能力）

不可欠な要素（ability=経験することで身に付きます）

基本的な要素（mental=基礎的資質です）

好奇心

やる気

ホスピタリティ

知識欲

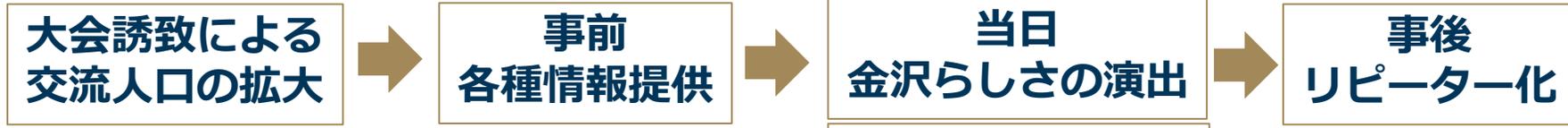
信念

社会人の基本
挨拶・報連相





コンセプト具現化に必要なスキル



スポーツツーリズム
相手が特定できる

一般的観光
不特定多数

競技団体・文化団体の関係者と良好な関係を構築する
民間企業含め様々なネットワークを構築
自らが工芸体験や食文化体験をし、県外からの参加者に自信を持って勧める
スポーツ・文化の歴史・由来等に関心を持ち探求する

「具現化する実行力」を身に付ける
どのような環境においても「挑戦する・トライする」ことが大切
不毛な議論はせず、実践のための議論をし
新たなことに挑戦する組織文化を作れば、コミッションは成長する

* 金沢市誘致開催補助金・奨励金制度

誘致制度の理解
競技団体関係者とのコミュニケーション

大会の流れ、大会の理解（競技団体関係者とのコミュニケーション力）
工芸体験・文化体験等自らが体験していること（行動力）
金沢らしさを演出する企画の提案が可能な人間関係の構築（ネットワーク構築力）
スポーツ・文化双方にWINWINの関係構築（企画力）
「やる気」「信念」「好奇心」「知識欲」「ホスピタリティ」を持って「自分事」として取り組む



金沢BRAND

Presents by

KANAZAWA CULTURE AND SPORTS COMMISSION